

本質的な問い 平和とは何か、わたしたちに何ができるか考えよう

単元名 「呉空襲・ヒロシマ」 ～過去・現在を知って未来を考える～

児童生徒の実態
・昨年度、地域にある文化遺産についての学習を通して、長迫公園に関する知識はある。
・課題を発見し設定する力や必要な情報を収集し、課題解決を目指して事象を比較し関連付けたりする力に課題がある。



目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）
・地域のみならず、日本の社会やその他様々な問題について、必要な知識や情報を多様な方法で効果的に収集することができる。（知識・技能）
・既習の知識や情報を比較・分類・関連付けながら考えを深め、相手意識をもって様々な方法で相手が理解できるような効果的な表現ができる。（思考力・判断力・表現力）
・課題を見つけて様々な方法を駆使してとことん解決しようとする。解決後も課題をどんどん広げつなげて次の課題に挑戦しようとする。（主体性・積極性）

単元を貫く問い これからを生きるわたしたちの役割には、どんなことがあるだろう
【探究課題 呉空襲、原子爆弾投下の歴史と自分達の生活との関わり】

【第3次】（ 5時間 ）

課題 平和宣言

個別の問い

- ・平和ってどんなことだろう。
- ・呉空襲から戦争と平和のつながりを考える。
- ・わたしたちにできる平和を実現するための役割は何があるだろう。
- ・学んだことを平和宣言にまとめて発信しよう。

（しかけ）
作成した平和宣言を学校や家庭で報告し、フィードバックする。

保護者

タブレット

【第2次】（ 15時間 ）

課題 被害や取組を調べる

個別の問い

- ・呉空襲によって呉市にはどんな被害があったのだろう。
- ・呉空襲によって呉市に住んでいた人にはどんな被害があったのだろう。
- ・復興に向けて、だれがどのような取組をしてきたのだろう。
- ・復興に向けて、変化したことはあるのだろうか。
- ・スライドで伝えよう。

（しかけ）
呉海軍墓地顕彰保存会の方のお話や大和ミュージアムの出前授業から、当時の状況と復旧に向けた取り組みを理解し、戦争や平和についての問題を捉える。

大和ミュージアムの出前授業

呉海軍墓地顕彰保存会の方

【第1次】（ 7時間 ）

課題 平和を考える

個別の問い

- ・平和ってどんなことだろう。
- ・呉市にはどのような歴史があるのだろうか。
- ・呉市の昔（戦前・戦時中・戦後）と今を比較すると、どんな違いがあるだろう。

卒業生の作品

広島市「こども平和宣言」

当時の写真

SDGs 16

（しかけ）
国語科「世界に向けて意見文を書こう」「ヒロシマのうた」の学習から、地球で起きている戦争や紛争などに目を向けさせ、さらに調べようという思いをもつ。
『ふうちゃんのそら』や『この世界の片隅に』を聞いたり、見たりして戦争について考える足がかりにする。

見直しポイント

探究的な学習の過程に沿った単元構成

- ①単元を通して、資質・能力を育成する「探究課題」等を設定しているか
 - ・解決の道筋がすぐには明らかな課題や、一つの正解が存在しない課題となっているか。
 - ・児童生徒が日常生活や社会に目を向け、解決したいと思える課題となっているか。
- ②児童生徒の思考を想定し、効果的な過程になっているか
 - ・活動をこなすだけになっていないか。
 - ・児童生徒から問いを生み出すしかけがあるか。
 - ・学習したことを表現する場を設定しているか。
- ③サイクルとサイクルのつながりがスムーズとなっているか
 - ・第1次だけで構成していないか。
 - ・第1次のまとめと第2次の課題設定がつながっているか。